



平成28年度 学校通信 No.10

1月 12日 (木) 発行



皆様がよき新年を迎えたことを心からお喜び申し上げます。教職員一同こどもたちの夢や志を大切にして、全力で取り組みたいと決意を新たしております。本年もよろしくお願ひします。

四日市市立三滝中学校職員一同



元気に登校 3学期が始まる！



年末年始大きな事故もなく生徒も元気に登校して3学期が始まりました。始業式で校長先生は次のように話されました。

あけましておめでとうございます。みなさんどのような冬休みでしたか？2学期の終業式は「自分のよさや自分らしさを磨くために社会に目を向けよう」、「多くの大人と自分の考えを話し、大人との会話から学んではほしい」と話しました。実践できたかな？私は、4月からずっと人ととのつながりを大切にしてほしいと言ってきました。それは、人間は自分一人では世の中で、生き抜いていくことはできないと強く思っているからです。さらに、君たちには人を大切にすることを実践して、三滝中学校でそのつながりを強い絆にしていってほしいと願っています。

ところで話題を変えて今日は朝ごはんを食べきましたか？ ごはん、パン？ その米は誰がつかったの？ パンはパン屋さんがつかったの？ でもパンの原料の小麦粉は日本人がつかったのかな？ 今、日本では多くの食材が外国から輸入されています。考えれば考えるほど日本人だけではなく、いろんな国の人々の力を借りなければ、私たち日本人は生きていけないです。今、グローバル化によって仕事の国際化が進み、世界のどこからでも誰とでもインターネット、スマートなどによる情報伝達ができる、海外旅行や観光客、留学などの人の交流が増えています。つまり、ヒト・モノ・情報が世界を飛び交うようになっていますね。ところが逆にグローバル化に反する動きとして人種差別や排外主義、反移民のような主張もみえるようになりました。

私たちはじゅーどうしたらいいの？ それは、まずは知ることから始めましょう。世界であろうが、日本であろうが、四日市であろうが、社会に目を向け、周りの人の話に耳を傾け、相手を知って、違いを知って、理解することが大切です。そして「あれ？」と疑問に思うことには、しっかり考え、みんなが納得する考え方や答えを見つけるために努力することが重要です。

3年生は、卒業まで約2か月です。卒業後の新しい世界で夢や志を持って学んで欲しいと思います。1・2年生のみなさんもこの三滝中学校をみなさん之力でさらに伸ばし素晴らしい学校にして、新入生を迎えてほしいと思います。私も先生方と協力して、みなさんが夢や志を持って目標に向けて取り組んでいけるように全力でつくしたいと思います。

2学期の反省

2学期終業式後、教師による講話や室長会からの反省の学年集会が開かれました。

1年室長会より

三滝祭への取り組みではまず何より自分たちが楽しめました。さらに自分たちが楽しかっただけで終わらず、見たり聞いたりしている人に響かせようとがんばることができました。そして、三滝祭が終わってから学校生活をもう一度見直そうとクラス会議をしました。

出てきた意見をもとに「鳴る前に 座れたあなたは 神ってる」というベル席の取り組みもしました。クラス会議では一人ひとりが参加しようという気持ちがありました。班でたくさん意見を出し、まとめ、また進行もすすんでやってくれている姿を見て、みんなクラス会議に積極的になってきていると感じました。3学期も今やっている取り組みを続け、見直すことがあればクラス会議を開き、自分たちが過ごしやすい学校生活を創っていきたいです。



2年生室長会より

2学期は、三滝祭があり毎日の練習により各クラス仲が深まったと思います。三滝祭当日もすべてのクラスがその成果を発揮しました。室長会の反省では仲が深まったことにより、「切り替えができない」「うるさい」などのマイナス面も報告されました。これは2年生になり気が緩んできているとわかりました。3ヶ月後は三滝中学校顔である3年生になり、4ヶ月後には修学旅行に出発していきます。3学期は短い期間ですが、2学期の反省を改善して3年生になっていいスタートを切りたいと思います。



3年生室長会より

私たち3年生は毎学期ごとに反省をしてきました。今回の2学期の反省でも良いところも悪いところもたくさん報告されました。良いところは各クラスが三滝祭の合唱コンクールを通して団結できたことや充実した展示制作・平和学習の発表などが出されました。しかし、「ベル席が守れない人がいる」など1学期からなかなか改善できないことがあるという残念な反省もありました。



中学生としての生活も残るところ2か月となりまもなく卒業を迎えます。いよいよ本格的な受験モードに入り、勉強はもちろん服装や挨拶といった学校生活に対する意識も高まってきました。

みんながそれぞれ希望する進路へ進めるように、3年間共に過ごした仲間と助け合い、卒業の日まで頑張ります。